

水辺のごみ見つけ！ アンケート 集計結果 (概要版)

(全国水辺のごみ調査)

I. アンケートの目的

水辺のごみ見つけ！ 調査の課題を知ること。水辺のごみ対策の実践事例を知り皆と共有しあうこと

II. アンケートの概要

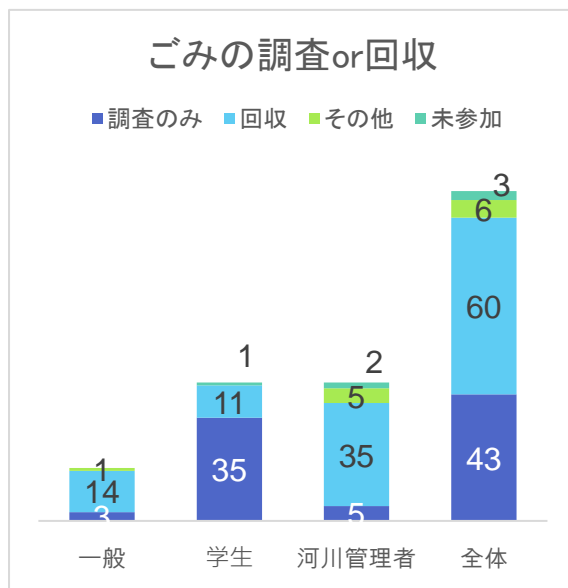
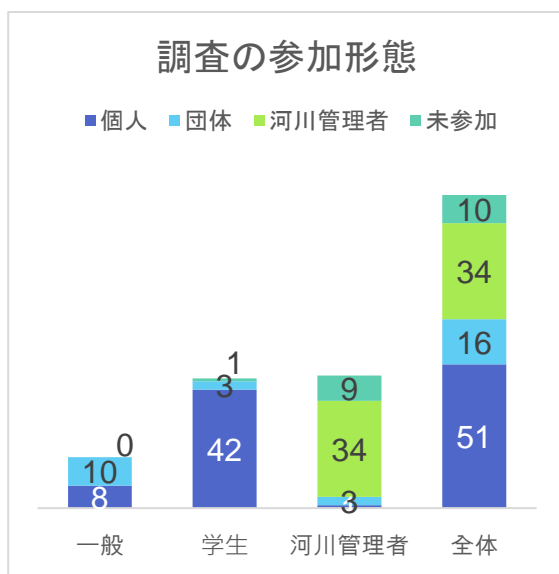
- 主体 : 全国川ごみネットワーク
- 対象 : 水辺のごみ見つけ前年度報告者 (市民、河川管理者)、河川事務所の今年度担当者、同志大学の原田准教授授業受講学生
- 期間 : 2024年6月13日～6月28日
- 方法 : ダイレクトEメールによる依頼 — グーグルフォームへの回答
 メールングリストによる回答依頼 — 同上
 国交省河川環境課および地方整備局を通じた担当者への依頼
 — グーグルフォーム、エクセルフォームの回答を併用

III. 調査結果

- 回答数 : 111
 (内、会員・一般18, 学生46, 河川管理者47)

1. 回答者の調査実施状況

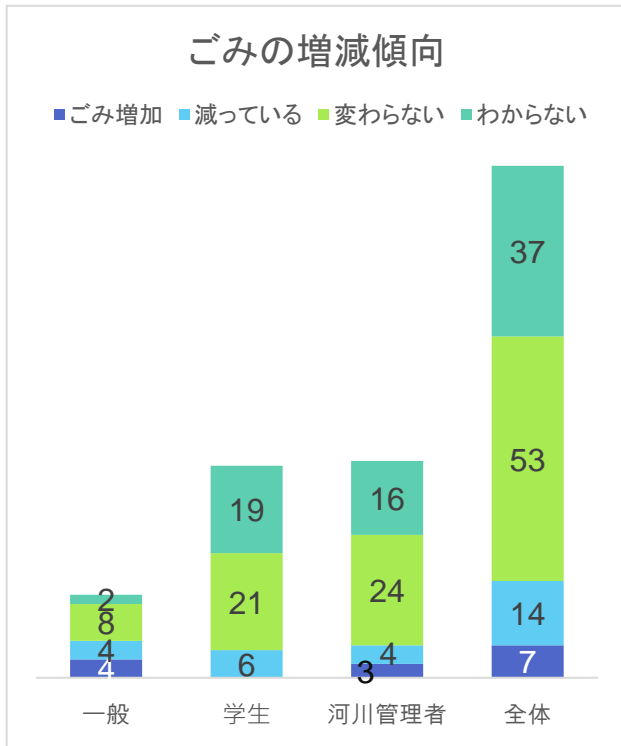
- ・調査 (水辺のごみ見つけ！) 未参加であるが回答された人が10名。その他は調査実施。
- ・一般、河川管理者の多くは調査したごみを回収したが、学生は目視調査のみの人が多い。



2. 最近のごみの状況（増減傾向）

- ・学生、河川管理者ともに「わからない」が約4割であった。
 - ・「わからない」以外でも、「変化なし」の回答が学生・河川管理者ともに7割以上。
- 「増加傾向」の回答は、一般4，河川管理者3人。
- 「減少傾向」の回答は、一般4，学生6，河川管理者4人であった。

増えている理由としては、散乱報告増、外出人数増など
減っている理由としては、清掃活動の成果が多く挙げられた。



■ 増えている理由

- ・特に飲料の生産数増加（一般）
- ・降水量増加による、上流ダム放流量増加（一般・淀川）
- ・コロナ後の外出する人の増加（河川管理者）
- ・不法投棄やごみの散乱報告の増加（河川管理者）
- ・モラル低下、外国人の投棄も多い？（河川管理者）

■ 減っている理由

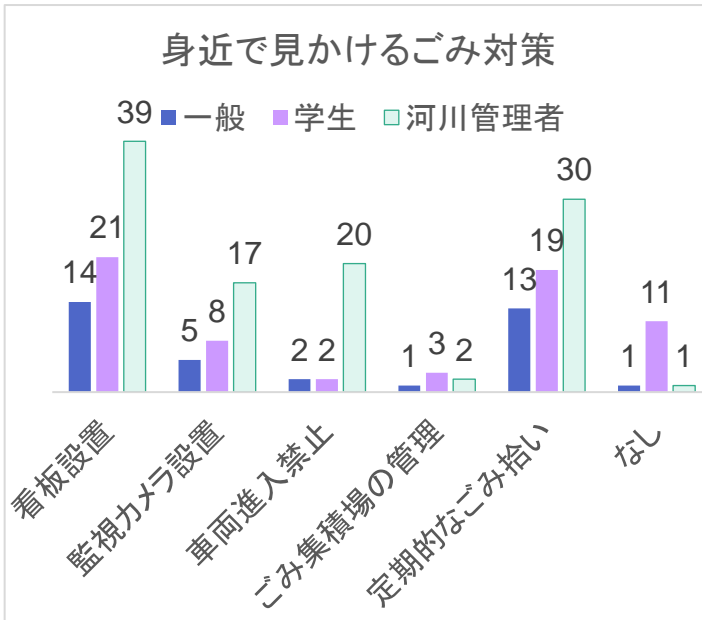
- ・自分が拾っていること、上流で拾っていること（一般・個人参加）
- ・ボランティアの活動（学生）、慈善団体の掃除（学生）
- ・社会情勢や河川美化活動が影響。・清掃活動の成果。
- ・毎年の流域で清掃活動で、住民の河川環境に対する意識が高まってきている（河川管理者）
- ・河川利用者のモラル向上（河川管理者）

- ・プラの海洋汚染等が配慮されるようになった（一般・個人参加）
- ・出水がなかったため、上流からのゴミが少なかった（河川管理者）

3. (身近で見られる) ごみの対策とその効果

・身近で見られるごみ対策としては、「看板設置」67%、「定期的なごみ拾い」56%が多く回答された。

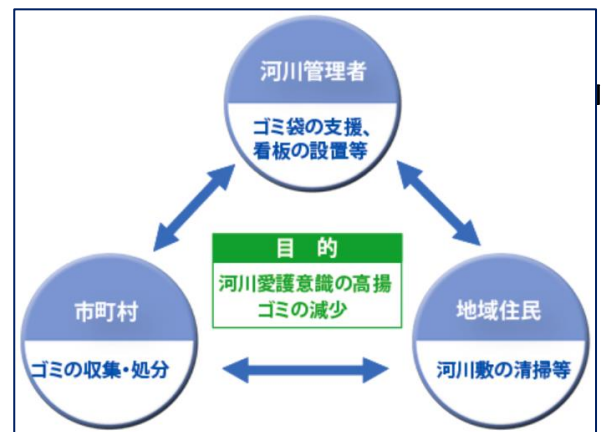
その他にも、小さな鳥居の設置、ポスター作成、自治体・地域住民とのパートナーシップによる清掃活動などで対策されていることが報告された



■その他のごみ対策

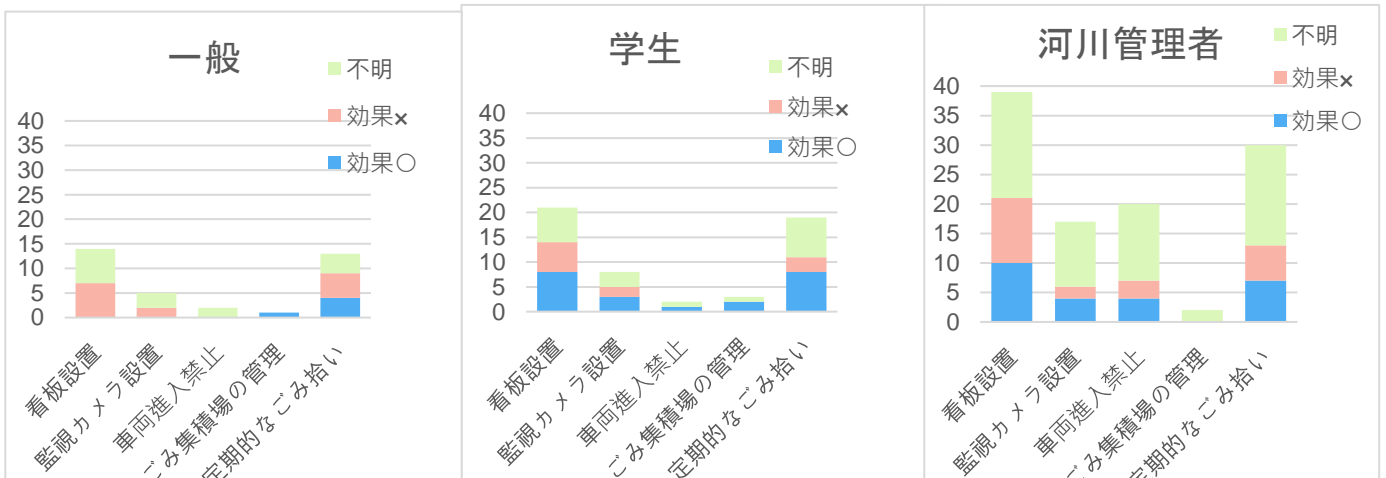
- ・不法投棄の多い所に赤い小さな鳥居を設置 (河川管理者)
- ・ゴミマップをHPに掲載し注意を促す。・年間ゴミ投案件数・箇所公表 (河川管理者)
- ・地域の小学生が総合学習の時間で水辺調査 → 啓発でチラシやポスターを作成。(河川管理者)
- ・河川巡視等による回収 (河川管理者)

- ・ラブリバーパートナーシップの認定団体による清掃活動を実施。年3回以上の担当地区清掃を行うしくみ。(高知河川国道事務所)
- ・花壇を作ったり、定期的な花の手入れ (河川管理者)
- ・スポーツ少年団や企業が (単発) 清掃活動



国土交通省 高知河川国道事務所のホームページより

■対策の効果



対策の効果としては、市民は効果少ないことの記述が多く、河川管理者は効果がみられる記述も多く見られた。看板やカメラは、設置しても他のところに捨てられてイタチごっこであること。ないよりはある方がよい等。車両進入禁止も効果有、なしの両意見など、いずれも、場所 (回答者) によって効果の有無は両意見が出された

〈一般〉 効果有る記述 4/18、 効果ない記述 9/18

看板×7、カメラ×2、ごみ集積場○1、ごみ拾い○4・×5

- ×看板：看板の前に捨てられている。一時的効果はあるが近いところに捨てられている
- ×監視カメラ、ごみ拾い：目立った効果は感じられない。効果ほぼなし。
- ごみ集積場：集積所の管理（生活ごみ回収後の清掃）ができているところは散乱ごみが少ない。
- ごみ拾い：定期的活動で、そこに人の手が入り管理されているということが目に見えて効果ある。
メディア取材や各々が SNS で発信することも効果的
- ×ごみ拾い：効果なし

〈学生〉 効果有る記述 14/46、 効果ない記述 10/46

看板○8・×6、カメラ○3・×2、車両進入禁○1、ごみ集積場○2、ごみ拾い○8・×3

- 看板：誰かに見られているかもしれないと感じさせることが出来る・怒られているような気がしてポイ捨てしにくくなる。・効果がないわけではない。
- ×看板：あまり感じない、感じられない、効果薄い
- カメラ：誰も見てないからいっかと思いき捨てている人も多いと思うのである程度少なくなると考える。
- ×カメラ：変わっていない、あまりない
- 車両進入禁、集積場：あると思う
- ごみ拾い：ごみが減っていると感じる。綺麗に保たれている。とてもある。一時的な減少ある
- ×ごみ拾い：変化したと思えない。直後はきれいになるがまたごみが落ちているように感じる

〈河川管理者〉 効果有る記述 16/47、 効果ない記述 15/47 （内 2 は、効果有、無の両方を記述）

看板○10・×11、カメラ○4・×2、車両進入禁○4・×3、ごみ集積場、ごみ拾い○7・×6

- 看板：ごみ投棄なくなった。・ないよりあった方がよい。・概ね効果的
- ×看板：あまり効果なし。逆に不法投棄されたことがある。設置直後は多少効果あっても見慣れてしまう。当初だけは効果あってもしばらくするとない。看板だけでは効果薄い
- カメラ：付近のごみ投棄はなくなった。・あると感じるが強くはない
- ×カメラ：その場の不法投棄は少なくなるが他に捨てられているのではないか
- 車両進入禁：大型ゴミ（家具・家電・産業廃棄物等）の削減に大きな効果有り。少なからず抑止効果有り。
- ×車両進入禁：あまり感じられない。目に見えて改善されている感じはしない
- ごみ拾い：実感として減っている。姿を継続して見せることで捨てる人の意識変更につながっている。
ある程度効果ある。河川美化に繋がり不法投棄防止の啓発に繋がっている。概ね効果的
- ×ごみ拾い：とくに変化なし、不法投棄は減らず明確な効果と感じられない。ごみ拾いしても下流部では
出水時に漂着。清掃活動が行われていても水際のごみは対策のしようがない
- ×看板、カメラ、車両進入禁、集積場、ごみ拾い：悪質な不法投棄は対策後も変わらない(その他)
 - ・河川でのゴミは大雨などで街より流されてきたゴミの方が多く感じる。街中でのゴミ拾い活動も河川
ゴミを減らす良い活動だと思う。
 - ・何か行動を起こさなければ変わらないので、これも方法としてはありだと思う。

4. (自分たちが実施して) 水辺のごみ削減に役立ったと思われること

ごみ集積場の改善と地域住民に管理を徹底したこと。看板の掲載内容を変更したこと。地域住民と自治体と連携してごみを撤去し再度の投棄がないよう徹底したこと。自主的なごみ拾いのごみの処分を河川管理者が行うこと。沿川市町と協働した継続したごみ拾いで意識醸成したこと。等ごみ削減に役立ったことが回答された。

注目したいごみ削減の取り組み

事例1：

ごみ集積所の管理

看板設置や集積所の改良はそれなりの効果を生んでいる。管理の甘い集積所の改善を住民に訴えている

河川ごみは生活ごみが多く、集積所の管理(生活ごみ回収後の清掃)ができているところは散乱ごみが少ない。(市民団体)

事例2：

のぼり旗の効果的活用

SNSで賛同者を募り活動を始めた。活動報告を町、県の担当者へ報告している。町衛生組合連合会では、のぼり旗の設置の方法を変えた。1メートルおきに5本、道路両側に計10本を設置、それを二か所に設置した。



町の中心部では各町内会が月1回ほど定期的に環境整備しているようなのでゴミが落ちていない。花壇整備も含む(市民団体)

事例3

不法投棄の撤去と持ち込み防止

良く不法投棄される場所のゴミの撤去を付近の住民と自治体の清掃課に協力を呼びかけ撤去し、再度投棄できないように車の進入できないような措置とダミーカメラの設置を行った。

●不法投棄の多い所に赤い小さな鳥居を設置。その場所への不法投棄は少なくなるが、他に捨てられているのではないかと思う。しかし、何か行動を起こさなければ変わらないので、これも方法としては有りだと思ふ。

●課題は、ゴミを処理する費用を少なくすること。(個人がひらって家庭ゴミとして処理するとか。)(国交省職員)

事例4

自主的なごみ拾いの支援

自主的な河川利用者(釣人、散歩)によるごみ拾いを歓迎している。
(処分は河川管理者)

●課題は、バーベキュー等のゴミを河川に置いて帰る人がまだいる。ゴミ持ち帰りを徹底したい

●その他意見：上流・下流・支川・海と一緒に活動できれば効果はでてくると思ふ。

沿川の企業も巻き込めば多くの参加者が期待できます。沿川の企業も巻き込めば多くの参加者が期待できます。(仙台南部流域治水出張所)

事例5

多くの団体が活動しやすい態勢を

河川一斉清掃や、ラブリバーパートナーシップ団体清掃の様子を高知河川国道事務所のX（旧 Twitter）から発信しています。近年は清掃参加団体が増加しており、地道な広報活動によって、さらにごみ削減に繋がることが期待しています。

- ラブリバーパートナーシップ認定団体が、年3回以上担当地区清掃を行うしくみ。清掃することにより、河川美化に繋がり、不法投棄防止の啓発に繋がっていると感じています。開始時と比較するとごみが少なくなったと感想をいただいています。
- 一人ずつの環境美化意識を高めることが課題と思います。（高知河川国道事務所）

その他にも以下のようなことが回答された

<一般>

[ごみ拾い] ・スポーツ GOMI 拾い。

- ・釣り人のゴミ拾い。・スポーツ少年団や企業のゴミ拾い。
- ・4.6m に伸びるアンテナや自転車の籠にロープをつけた道具等で定期的に拾う。

[発信] ・ピリカ等を活用した発信。SNS の投稿をシェア

<学生>

- ・景観にあったゴミ箱の設置。
- ・草むらの草を刈った。・植物が植えられている



<河川管理者>

[看板の工夫] ・内容を不法投棄が犯罪であること、罰則規定を具体的に記載するものに変更（豊橋河川岡崎出張所）

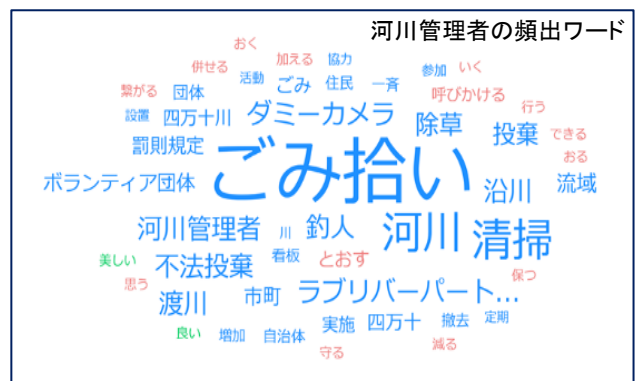
- ・看板に警察に通報する、相談している等の表現を加えた（前任 佐伯河川国道事務所）

[連携した清掃活動] ・団体がボランティアとして清掃活動を行う「マイリバー四万十 Together」を実施。（四万十川水系）（中村河川国道事務所）

- ・一斉清掃を流域の沿川市町と協働で継続実施していることで美しい川を守っていくという思いが醸成されゴミ量の増加抑制に繋がる（倉吉河川国道）

[除草] ・除草等によりきれいにしておく。・ゴミ拾いに併せて周辺の除草を実施。

[ごみ拾い] ・河川をきれいな状態に保つことの大事さを参加者と雑談の中で共有している（中村河川国道）



5. ごみ対策で課題と思われること

一般からは、意義がわかりづらいこと。メーカー等も一体に発生減対策が進んでいないことなど。
学生からは、ごみ箱がなく、回収することが困難なことなど。河川管理者からは、処分費の負担が大きいことが多数。侵入防止柵を付けての課題や看板の数等の具体的な課題。対策を一部で行っても全体的な削減に繋がらないことなどが回答された。

<一般>

意義がわかりづらい・ごみを拾うことで終わってしまっている。家庭のごみ削減や流通、消費のシステム、経済を自分事として考えるというところまではなかなかいかない。

・カウントすることでどんな効果があり、参加者がどんなことに寄与したのかわかりにくい。

仕組みが必要・発生抑制対策（特にワンウェイ容器）→メーカー、小売を巻き込んだ取り組みが必要。

・プラスチック削減への取り組み→拡大生産者責任制度の導入

メーカー協働を・メーカー、販売店も一体化して国全体で取り組む（コンビニ周辺、道路等）

行政の支援不十分・「河川愛護デー」「環境デー」等同様に行政でクリーンアップ等も一緒にPRを。

・ボランティア清掃への行政支援が不十分 →運搬～処理

無関心者に伝える・大多数の無関心な人々にどのように伝えるか、行動を起こしてもらえるか

<学生>

回収困難・回収が困難・持って帰ることのハードルが高い。

ごみ箱を増やす・ごみ箱が少なく、ポイ捨てに繋がる →街中にもっとごみ箱を増やす。

費用負担・ゴミの回収、処理を行政に任せるとどうしてもコストがかかってしまうこと。

制度不十分・条例などによる罰則が不十分であること

<河川管理者>

侵入防止柵の手間・侵入防止柵の設置に伴い、河川管理（出水時の巡視など）において、手間が増える。

また、河川の自由使用が制限されるため、一般利用者にとっても水辺に親しむ機会損失につながる。

看板設置・看板を多く設置しすぎても景観や地域感情（ゴミを捨てる人が多い地域と思われるなど）上好ましくなく、少ないと目立たない。

・看板を設置した箇所での投棄はなくなったが、設置されていない場所で投棄されている。

費用負担が大・河川管理者としてはゴミの処分費の負担が大きい。ゴミを放置すると投棄が増えることは認識しているが、予算の確保が困難で迅速に対応できないケースも発生。（複数回答）

・ゴミを処理する費用を少なくすること。（個人がひらって家庭ゴミとして処理するとか。）

・河川管理者に、ゴミを回収・処分できるだけの費用的な余裕が少ない

連携を・家具等の大型ごみの不法投棄については警察の協力が必須の連携

・上流から流されてくるごみも確認されることから、流域全体での取組が必要。

対策困難・ごみ対策に関して様々な取組を進めている中で、いまいち効果的な手法が確立されていない。

・水辺利用者のゴミのポイ捨てなど、様々なゴミが至る所で日常的に投棄されており、効果的なごみ削減対策を不法投棄箇所で実施したとしても、全体的なごみ削減にはなかなか繋がらない。

・河川においては範囲が広く、ゴミ収集にも時間がかかる。

・河川等の利用者が増えるとゴミも増加すること。

罰則・罰則の理解が乏しい。

事業者責任に・コンビニ等のごみ箱設置。物だけ（ゴミ）売って回収しないのは問題がある。

6. 「水辺のごみ見つけ」についての意見・要望など

一般からは、調査したデータの活用を戦略的に生かすことや、その成果を示すことが求められている。
河川管理者からは、流域全体や企業も巻き込み、効果を高めるとよいことなどが伝えられた。

<一般>

- ・見つけたゴミデータの活用を戦略的に
- ・調査結果は、ごみ削減の仕組みづくり、水辺の環境保全活動などに役立てる。とあるが、具体的な事例報告などをして欲しい。
- ・集計アプリの「ごみゼロ」とのタイアップしていただきたい。
- ・月に一度の 川ごみネットが声をかけて、全国一斉清掃！それをインスタなどに、共有する。そのごみの写真を写真展しても良い！
- ・小学校、中学校とのタイアップを進めると良いと思う。
- ・基本的に同じような顔ぶれが多い。その枠から出たところの方にどうやってお伝えできるのか？

<河川管理者>

- ・上流・下流・支川・海と一緒に活動できれば効果はでてくると思う。
- ・沿川の企業も巻き込めば多くの参加者が期待できる。
- ・調査項目を可燃・不燃など処分方法に合わせていただけると紹介等しやすいかと思う。

[参考] アンケート内容 (エクセルフォーム) グーグルフォームも内容は同一

<h2 style="margin: 0;">水辺のごみ見つけ！ あなたの事例を教えてください</h2> <h3 style="margin: 0;">==ごみ調査・対策の取り組みアンケート==</h3> <p style="font-size: small; margin: 0;">調査の改善、水辺のごみの具体的な対策をすすめるために、皆さまの「水辺のごみ見つけ！」(全国水辺のごみ調査)取り組みについてご回答お願いいたします。(記入時間は3~10分程度)</p>	
*の項目は必ずご回答ください	回答欄 <small>(青字の選択肢は回答欄をクリックすると右下に出る▼プルダウンリストから選んでください)</small>
■ 回答者 Eメールアドレス*	
1. 調査実施状況について	
■ 水辺のごみ見つけ！の参加形態* 個人 / 団体 / 河川管理者 / まだ参加していない	
■ 見つけたごみを回収していますか* 調査のみ / 回収している / その他	
・その他の場合は、その内容	
2. ごみの状況について	
■ 活動場所のごみの増減傾向はいかがですか* 増えている / 減っている / ほとんど変わらない / わからない	
・上記で「増えている」または「減っている」と回答した方は、増えている理由/減っている理由はどのようなことでしょうか	

3. ごみの対策について	
<p>■水辺のごみの対策として身近で行われている(見かけた)ことがあるものは何でしょう(複数に☑可)*</p>	<input type="checkbox"/> 看板設置 <input type="checkbox"/> 監視カメラ設置 <input type="checkbox"/> 車両進入禁止区間が設けられている <input type="checkbox"/> ごみ集積場の管理ができています <input type="checkbox"/> 定期的なごみ拾い <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他
・その他の場合は、その内容	
・その効果はいかがでしょう?わかる範囲、感じる範囲でご記入ください	
<p>■ご自分たちで実施されて、水辺のごみ削減に役立ったと思われることがあればお知らせください。些細な事でもご記入ください。(例えば、花を植えた、のぼりを立てた、看板のデザインを〇〇に変えたことでポイ捨て削減、支川の住民に呼びかけごみ拾いを行ったことで支川からのごみ削減 など)</p>	
■ごみ対策で課題と思われることをご記入ください*	
4. 調査項目(飲料ペットボトル、レジ袋、カップ型飲料容器)について	
■この3項目以外に調べたい項目があれば何でしょう?その理由は?	
5. 調査全体について	
■本調査や日頃の活動で連携する団体や行政がありますか*	
ある/ない	
・あると回答した方はどのような連携ですか	
■本調査を他の団体や個人に紹介したいですか*	
紹介したい/紹介したいとは思わない	
・その理由は	
■「水辺のごみ見つけ」をテーマにして、オンラインで情報交換をすることをどう思いますか(今後の企画として)	
■その他、水辺のごみ見つけ!についてのご意見・ご要望などあればご記入ください	
6. ご回答者について	
■氏名(回答内容を共有する際に、氏名は非公開にします)*	
■所属団体(あれば)	
<p>ご回答ありがとうございました。 ご回答内容は、ご協力いただいた皆さま、関係の皆さまなどに共有し、水辺のごみ対策の推進に役立つよう働きかけてまいります。</p> <p>■ごみ対策の好事例について公開しても良い写真があればEメールで添付ください(宛先:kawa53@kawagomi.jp)</p> <p>■「水辺のごみ見つけ」は2024年も実施しています。本年もご協力よろしくお願いいたします。 水辺のごみ見つけの説明⇒https://kawagomi.jp/mikke/</p>	
<p>本シートの 返送先 ⇒ kawa53@kawagomi.jp</p>	



河川基金